

⑩

那珂市の館跡

(那珂市歴史民俗資料館)

高野氏館跡全景



中世における那珂市域には額田城・南酒出城・戸村城・瓜連城・古徳城・城菩提城・江戸城・北酒出城の8か所があったとされます(解説シート⑨参照)。それらの城主は多くの家臣団を持っていたことから、彼らの屋敷である館も多く存在します。

菅谷地区から飯田地区にかけては、南の江戸氏と北の額田氏、西の戸村氏との接点に位置し、互いの抗争が絶えなかったと思われます。

これらの館の周辺には堀と土塁が巡らされ、出入り用には木橋や土橋が架けられていました。内部は大きな門や住宅・倉庫・角櫓、井戸や貯蔵庫・貯蔵穴などが設けられていました。館のほとんどは既開発か半壊の状況ですが、中には山林として残っているものも見られます。

地区 (館主)		地区 (館主)		地区 (館主)	
菅谷	寄居 (平野豊前重資) 仲の房東(軍司筑後守) 地天 (飛田氏) 一の関 (藤咲丹後) 竹の内 (藤咲丹後嫡子) みの内 (柏村越前守) 中宿東 (高野丹後守) 高内 (宮田掃部助) 鷺内 (加藤安房守) 小六内 (平野小六) 仲の房 (関口左衛門尉) 堀之内 (大和田主水)	福田	中坪 (福田和泉) 向坪 (海野日向) 玄蕃山 (畔野玄蕃) 藤崎 (坏縫殿之介)	戸崎	内子 (戸島弾正)
	門部		ゆうがい山(一) 不明 (片岡美作守) 木戸前 (木戸某:義家陣所) 小屋場 (義家陣所)		飯田
			下江戸	楯の内 (江戸氏) 大内 (江戸義高)	鴻巣
	本米崎	加納 (加納衛門)		向山	大学原 (大井大学)
		戸	立石 (檜山氏)		豊喰
					西木倉

(『那珂町史の研究 第10号』より。この他にも新発見が期待される。瓜連地区は未調査です。)

写真上(「高野氏館跡調査報告書」より)・下は、開発対象となったため平成18年度に発掘調査された中宿東の高野氏館跡(堀が一重の単郭)です。館跡全域が確認調査の対象となった貴重な発掘でした。館の形状は、堀の外郭が東西59m余、南北68m余の方形館です。堀の幅は5m超、深さは3m超、底部幅は1.5m前後で湧水の水堀であったと思われます。

土塁の幅は3m前後、高さは2.5m前後で四角に高く盛られた櫓台が見られました。南西部の虎口(出入口)に門扉用柱跡があり、架橋であったことも分かります。

堀立柱建物跡3棟、井戸跡5基や内耳土鍋やカワラケなどの土器類が検出されています。



